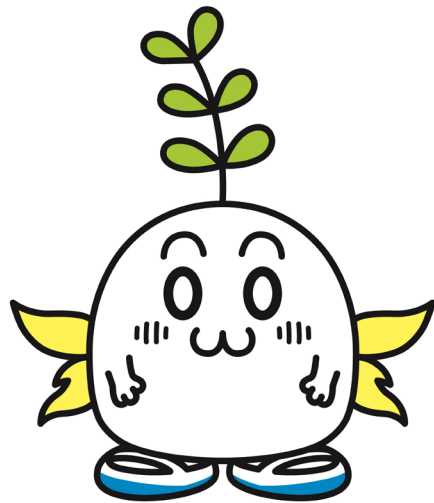


令和5年度 横浜市幼保小連携推進地区事業

推進テーマ

子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の連携
～遊びこみから学びへのスムーズな接続～



西区 東地区
野毛山幼稚園
東小学校

推進テーマ設定の理由

幼保小交流は毎年継続して実施しており、小学校入学に向けての接続において成果をあげてきた。

しかし、これまでの交流は、園が小学校を訪問することが中心で、小学校側が園の活動への理解を深める活動は少なかった。そこで、園と小学校がお互いに関連を意識しながら平素の指導を行っていくことで、遊びこみから学びへの接続がさらにスムーズなものにできるのではないかと考えた。

推進内容

	園・校名	担当者名	園・校名	担当者名
	東小学校		野毛山幼稚園	
月		行事・活動等		内容
4				
5		第1回推進委員会		園・学校の現状について情報交換 推進テーマの確認
6		運動会参観 第1回担当者会（西前小学校） 授業参観（東小学校） あさがおの苗のプレゼント（1年生と園児）		園・学校の年間計画について意見交換 幼稚園職員が小学校の運動会を見学する。 今年度の交流計画についての意見交換 幼稚園職員が小学校の授業を見学する。
7		保育参観（野毛山幼稚園） 第2回推進委員会		小学校職員が幼稚園の授業を参観する。 具体的活動の話し合い ・1年生と幼稚園を主とした交流 ・5年生を主とした交流
8				
9				
10		どんぐり拾いで交流（1年生と園児）		野毛山公園で交流 かけっこへの参加 参加賞の配付⇒中止
11		生活科でのなかよし交流会（1年生と園児）		秋を感じる遊び・「くじらぐも」音読劇等を通じた交流 ⇒どんぐりおもちゃ・音読劇動画のプレゼントに変更
12				
1		生活科でのなかよし交流会（1年生と園児） 第2回担当者会（西前小学校） 家庭科での（5年生と園児）		学校体験・学校案内を通じた交流 ブロック交流活動の振り返り
2		第3回推進委員会		活動の振り返り
3				

今年度の重点課題

～今年度 力を入れたこと～

- ・ 1年生以外の学年も幼稚園との交流を行い、学校全体で関わりを深めていく。来年度、現5年生は入学してくる年長児とたてわりペアとして関わることになるため、家庭科の学習の一環として、交流を行う。
- ・ 保育参観や小学校の授業参観を通して、教職員の交流を深める。全職員が、幼稚園・保育園と小学校との接続について理解を深められるようにする。

あさがおの苗をプレゼントしよう

あさがおの芽が出たよ。



たくさんあるから
プレゼントしよう



交流について

あさがおの間引きをした際に、「間引いたあさがおの苗を、幼稚園の友達に渡したい」という意見が何人かの児童から出てきました。就学前に小学生と交流した経験から、自分たちも同じように幼稚園の友達と交流したいという思いが広がりました。それをきっかけに、生活科の学習を通して交流の計画を立てていきました。

あさがおの苗をプレゼントしよう

野毛山幼稚園の友達に
プレゼントを
渡しに行ったよ。



一緒に遊ぼう！



交流について

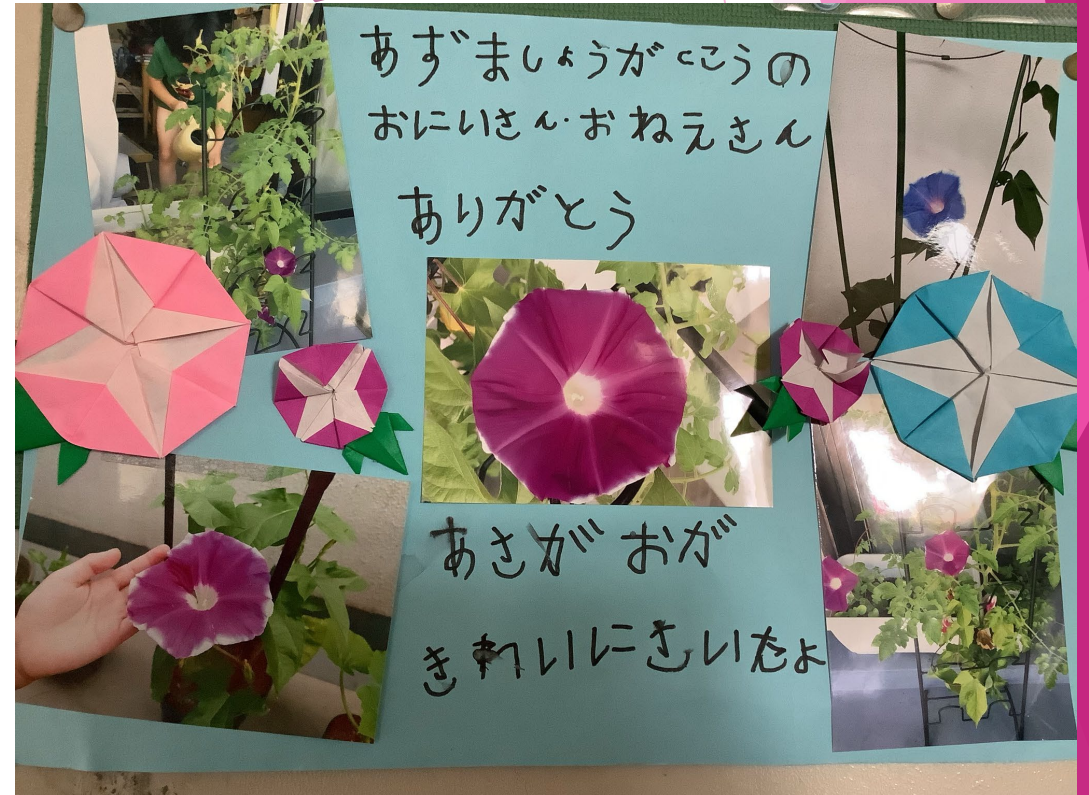
幼稚園を訪問し、あさがおの苗を直接渡しました。また、園の中で一緒に遊ぶことができました。そのため、幼稚園の友達と交流していくよいきっかけとなりました。

あさがおの花が咲いた！

あさがおの花が咲いた！



幼稚園の友達にあさがおも、
きれいに咲いたんだって！



いっしょに あきあそびをしよう

秋を見つけに、野毛山公園に行きました。すぐ先は、野毛山幼稚園です。「幼稚園の友達はどうしているかな。」「また一緒に遊びたいね。」と子どもたちの気持ちは高まっていました。そこで、野毛山幼稚園との交流の時間をつくり、一緒にどんぐり拾いを行いました。

秋を探しに行こう

また会えたね

一緒にどんぐりを
探そう



いっしょに あきあそびをしよう



一緒に遊ぼう！

今度は学校に遊び
にきてね！



この時期に交流を設定したことで、この後の球根を植えたり、秋遊びで作ったものを紹介したりする活動でも野毛山幼稚園の友達と交流しようという気持ちをもつことができました。

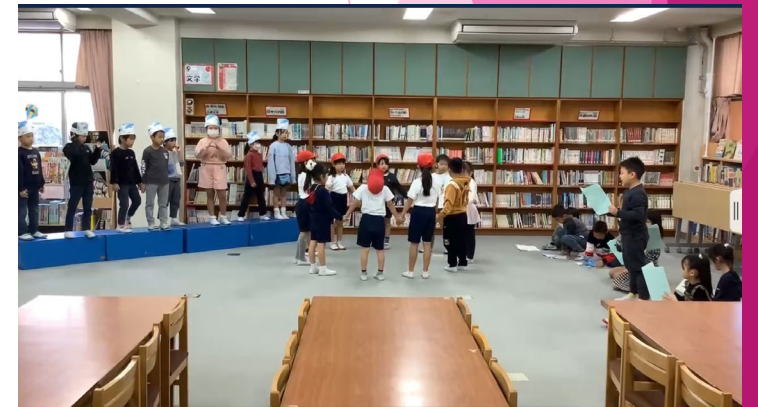
あきのプレゼントを わたしにいこう



どんぐり人形や、どんぐりごまを
プレゼントしたよ



「くじらぐも」の音読劇は、
動画をプレゼントしました。



野毛山幼稚園の友達と一緒に拾ったどんぐりを使って、いろいろなおもちゃを作りました。そのおもちゃを使って一緒に遊んだり、「くじらぐも」の音読劇を発表したりする予定でしたが、急遽中止になってしまいました。「学校に来てもらうことが出来ないなら、渡しに行こう!」ということで、幼稚園に、プレゼントを届けに行きました。

なかよし交流会



「4月から小学生になる幼稚園の友達に、学校のことを教えてあげたいな。」
これまで交流をしてきた幼稚園の友達を学校に招待して、学校の色々な場所のこと、勉強のこと、当番のことなどを伝えました。

5年生と園の交流



家庭科の「園児と仲良くなろう」と関連させて学習を行いました。園児の様子や幼稚園の先生がどのように園児と関わっているのかを観察しました。その後よりよくかかわるための方法を考え、交流の計画を立てて野毛山幼稚園で交流を行いました。園児の発達段階を考慮して、動きのある遊びを計画したり、優しい声かけや目線を合わせて話をするように工夫したりして交流しました。

小学校職員による保育参観



7月に全職員で野毛山幼稚園に行き、保育参観を行いました。幼児教育の実際を見学することができ、幼児期に培った力をどのように小学校教育へ生かすか、意識することができました。

今年度を振り返って

1年間を振り返って

昨年度から引き続き、直接交流の場を設定し、双方向の交流ができたことが1年生にとっては大切な経験となりました。今年度は、保育参観や授業参観を実施することができ、教職員の交流を深めることができました。次年度以降も、学びの連続性が確かなものになるような活動を計画していきたいと思えます。

子どもたちの成果と課題

- ▶ 毎年続けてきた交流が根付き、園児が小学校に上がったときに具体的にどんな交流をしたいか主体的に考えることができた。
- ▶ 園児とのかかわりを通して、自分の成長を実感したり、課題を解決したりする力が育った。
- ▶ 1年生だけでなく、家庭科の学習を通して5年生も園児と異学年交流ができた。
- ▶ 交流が本格的に始められるのは秋以降となっているため、感染症の流行次第で対面での交流がやむを得ず中止になることがある。オンライン等を含めて、交流のさまざまな手段を検討していきたい。

教職員の成果と課題

- ▶ 小学校職員による保育参観を実施できたため、1年生担任だけでなく職員全員で幼稚園・保育園と小学校の接続期における子どもの育ちや学びについて理解を深めることができた。